

お知らせ

【ウクライナ危機へのロータリーの対応】

ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、1,500万ドル以上の寄付が集まり、水や食糧、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のために既にこの資金が活用されています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、90件の災害救援補助金(総額240万ドル)が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。

[ウクライナ危機へのロータリーの対応](#)



[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての最新情報は[こちら](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2022年5月23日現在
アメリカ	\$ 189,761,207
韓国	\$ 24,596,108
日本	\$ 16,743,622

2021-22年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億2,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:9,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- ・各地区がDDFを使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 236
AKS会員数 53
PHS会員数 1195

【祖国で人びとを助けるウクライナのクラブ】

自らも戦争の被害を受けているウクライナのロータリー会員たちは、避難先から戻ってきた市民を支援するために、海外からの支援物資の配布と長期的な救援活動に取り組んでいます。

2月下旬にロシア軍が侵攻して以来、ウクライナのロータリー会員は定期的にビデオ会議を開いて対策にあたってきました。ウクライナのロータリー雑誌『Rotariets』の編集者であるミコラ・スタビリャンコさん(ウクライナ・ロータリーEクラブ会員)によると、同国の会員の活動は、民間の負傷者が手当てを受けている病院に薬と電力を供給すること、避難している家族のシェルターを見つけること、次々と送られてくる支援物資を管理することを中心としています。続きは[こちら](#)

【平和の祈りを込めたコンサート】

エレナ・ボンダレンコ氏(平石)の記事がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

広島家族がロータリーを通じてウクライナを支援

私は、ウクライナ東部のドニプロという都市で育ちました。父はウクライナ人、母はロシア人です。留学のため21歳で来日し、広島市内の会社に勤めました。広島西南ロータリークラブ会員である夫・雅史と出会って、今では10代の息子3人を育てています。夫を通じてロータリーについて知り、7年ほど前にベトナムに赴いてロータリーの孤児院支援活動にも参加しました。

2年前から、末の息子のバイオリン留学のためドイツに住んでいます。ウクライナでの恐ろしい戦争が勃発したのは、2月下旬に日本に一時帰国していたときです。ウクライナの親せきや親友たちのことを考えると心配でたまりませんでした。キーウやドニプロだけでなく、マリウポリとドネツクから脱出できずにいる知り合いもいます。

・・・私は以前から、広島で親子のための室内楽コンサートを時々催していましたが、今回は急遽、ウクライナ支援のためのチャリティコンサートとし、バイオリニストの息子と、その友人であるピアニストの岡野純大さんが演奏することになりました。馴染みのあるクラシック音楽の曲を披露し、これまでの収益はロータリークラブを通じてウクライナ支援のために寄付しました。記事は[こちら](#)

【ウクライナ難民支援：欧州のローターアクトクラブが力を結集】

2022年2月下旬、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、イリーナ・ブシュミナさんは数時間のうちに、キーフの自宅から逃げ出しました。姉と生後3カ月の甥とともにオーストリアのウィーンに向かい、途中、ロータリー会員の家に身を寄せました。Kyiv Cityローターアクトクラブの会員で、ウクライナの地区ローターアクト代表を務めるブシュミナさんは、支援を受けたことをきっかけに、より大規模な救援活動を行うことを決意しました。現在、彼女が作成したオンライン・プラットフォームを通じて、数千人のウクライナ難民のためのシェルターを見つけることができるようになっています。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)
[組織規定](#)
[管理委員会の決定](#)
[ロータリーのプライバシーの方針](#)
[EU 一般データ保護規則 \(GDPR\) について](#)

<資料>

[財務報告](#)
[年次報告\(オンライン版\)](#)
[携帯用カード](#)
[ロータリー財団参照ガイド](#)
[地区ロータリー財団委員会要覧](#)
[地区ロータリー財団セミナーの手引](#)
(zip)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クラフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

欧州各地で、ローターアクト会員がデジタルツールを使って情報を共有し、ウクライナの戦争で被災した人びとを支援するために連携しています。世界40カ国以上のクラブが加盟する欧州のローターアクト多地区合同情報組織(通称「[Rotaract Europe](#)」)を通じてグローバルネットワークを活用し、被災地のニーズに合った支援を行ってきました。

記事の続きは[こちら](#)

【奉仕を通じた学び】

2021年インターアクト賞(エッセイ部門)受賞作品: イサベル・オー、メスタ・スマナスカラ氏(オーストラリア、Balwyn高校インターアクト委員会)の作品がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

フリンダース通りを歩くと必ず聞こえてくる「チャリン」という硬貨の音。フツと息を吸い込んでから私も「チャリン」と硬貨を容器に入れたが、駅に入るやその音は電車にかき消された。最後にちらりと振り返ると、その男性の希望をたたえた目がこちらを見て、都会の喧騒の中でやさしく「ありがとう」と口が動くのが見えた。街を歩き交う人たちは皆、自分のことに没頭して、道端の(ホームレスの人たちが持つ)「Help」(助けてください)と書かれた紙や毛布には気づいていない。大勢の目があるにもかかわらず、そのすべてがスマホにくぎ付けで、地面に座っている人たちからあからさまに目を遠ざけているかのようだ。記事の続きは[こちら](#)

【広島から世界に目を向けて～ここで自分たちにできることを】

ロータリーボイスに田中 朋博氏(広島西南ロータリークラブ会員、国際ロータリー第2710地区公共イメージ委員長)の記事が掲載されました。

下記はその抜粋です。

マツダ スタジアムで実現した「ロータリー奉仕デー」

国際ロータリー第2710地区では、広島県と山口県の72のロータリークラブがそれぞれの地域ならではの奉仕活動を行っています。

コロナ禍で迎えた3年目の春、2022年4月28日に、初めての地区内クラブ合同奉仕事業となる『国際ロータリー第2710地区 ロータリー奉仕デー in マツダ スタジアム』を実施。広島東洋カープの主催試合にあわせて、マツダスタジアム、広島駅とマツダ スタジアムをつなぐカーブロードなど計7カ所で募金を呼びかけ、スタジアムの入場ゲートなどで資料配布やロータリークラブの公共イメージ調査を行いました。

今回の事業は、国際ロータリーが長年にわたって続けているポリオ(小児まひ)根絶のための活動(エンドポリオキャンペーン)と、ロシア軍の侵攻を受けるウクライナにおいて被害を受けた方々への支援を目的として行われました。記事の続きは[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS パンフレット](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

【「女児のエンパワメント推進者」のロータリー会員を表彰】

2022年3月、ニューヨークで開催された、UNICEF(国連児童基金)とのロータリーデーにおいて、6名のロータリー会員が「People of Action: Champions of Girls' Empowerment」(世界を変える行動人:女児のエンパワメント推進者)として表彰されました。この表彰は、教育、保健、衛生に関するリソースを女児に提供し、女児が活躍できる環境を整えるための貢献を評価したものです。女児のエンパワメントは、シェカール・メータRI会長が掲げるイニチアチブの一つであり、今年度の奉仕プロジェクトの焦点とすることをクラブと地区に呼びかけています。記事の続きは[こちら](#)

【2022年ロータリー国際大会のライブ配信】

国際大会に足を運べない方も、バーチャル形式でご参加いただけます。5月11日午前0時から8月31日(シカゴ時間)までは、75ドルとなります。

[ロータリー国際大会 バーチャルプログラム](#)

ポリオプラス

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2022年 1月1日～ 5月24日	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	3	1	84	147
	アフガニスタン	1	4	56	29
非常 在国	モザンビーク	1	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		5	6	140	176



ロータリー平和センター

【ロータリー平和フェローの推薦】

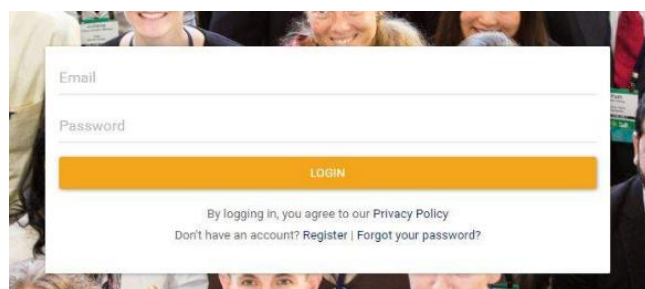
地区を指定した候補者がいる場合は、6月初旬にロータリー平和フェローシップ委員長や推薦に関する研修を終えた委員に情報が送られます。地区が面接を経て推薦書を提出する締め切りは7月1日です。もし、候補者の情報を受け取った地区で対応できない場合は、すぐにお知らせください。推薦しない場合でも、面接とその所見の記入は必須となります。

《オンライン推薦フォームへのアクセス》

- [推薦のオンラインフォーム](#)は、候補者のものとは異なりますので、ご注意ください。
- 登録に使うメールは My ROTARY と同じものを利用してください。
- 初回はパスワードの設定が必要です。Forgot Password をクリックして、メールを受け取り(迷惑メールボックスもご確認ください)、設定すると開けるようになります。昨年度利用されていた方は、同じパスワードをそのまま使うこともできます。

インターネット接続時のブラウザは、Google Chromeが推奨です。

推薦フォームが開けない、または設定のためのメールが届かない場合は、お知らせ下さい。



【七つの平和センター】

世界各地にあるロータリー平和センターは、平和構築と紛争解決に貢献する人材を育成するため、それぞれ独自のカリキュラムを提供しています

リタ・ロピディアさんは、ロータリー平和フェローとしてブラッドフォード大学(英国)に留学したときのことを鮮明に覚えています。「アフリカの政治と国連平和維持の授業が一番好きでした」とロピディアさん。「政治学の授業では、アフリカ大陸の歴史をより深く理解するために研究を重ね、平和維持の授業では、グローバルな政治について理解を深めることができました。世界中で起きている出来事をグローバルな視点で見ることができるのは、目からウロコの体験でした」

記事の続きは[こちら](#)

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

新型コロナウイルス感染拡大により、クラブの取り組みや会員の皆様の生活へ大きな影響がある中でも、ロータリーを支えるための寄付をお寄せいただき誠にありがとうございます。クラブ会員のお一人でも年次基金へご寄付をいただければ年次基金寄付ゼロクラブではなくなります。

今年度も残りわずかとなりますが、年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、ご協力をお願いいたします。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2022年5月23日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	0	2620	2	2740	5
2510	1	2630	1	2750	4
2520	5	2640	9	2760	0
2530	3	2650	0	2770	0
2540	2	2660	0	2780	5
2550	2	2670	0	2790	1
2560	1	2680	3	2800	2
2570	0	2690	0	2820	0
2580	0	2700	4	2830	2
2590	0	2710	2	2840	5
2600	0	2720	3	合計	69
2610	5	2730	2		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

≪[My ROTARY](#) にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート≫

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

【子どもたちの未来に夢を馳せる ～遺贈の選択～】

約四半世紀にわたり桐光学園インターアクトクラブの顧問をされている林直子先生より、この度、ロータリー財団への遺贈のお申し出をいただきました。インターアクトクラブ顧問として、なぜロータリーに寄付することを選択されたのか。その理由を林先生に伺いました。



林直子先生とインターアクトたち。

➤ 先生とロータリーとの最初の接点はどのようなものだったのでしょうか。

林:学校で、部活動の顧問としてインターアクトに携わるようになったのがきっかけです。それ以前は接点がありませんでした。顧問になってはじめて、ロータリーが素晴らしい活動をされていることを知りました。

➤ インターアクトの活動を通して感じたことや、特に印象深かった出来事があれば、お教えてください。

林:まず何より、第 2590 地区を中心としたロータリアンの皆様からいただいた数々のご薫陶や貴重な学びの機会が、すべて「宝もの」になっていることに、深く感謝しております。おかげさまで、人生が変わりました。

ロータリーの精神を象徴する出来事の一つとして、台湾へのインターアクト海外研修でのある経験をお話したいと思います。

台湾は、東日本大震災の時に世界で最も大きな支援をくださったので、そのことをよく承知して行くよう、事前に生徒たちへ伝えました。現地でロータリークラブの例会に出席させていただき、台湾在住の日本人女性の卓話を聴きました。その方は震災当日、大学の卒業旅行で台湾を訪れていましたが、ご実家が宮城で被災されたため、帰国できなくなってしまったそうです。そこで、今の自分にできることを考えて街頭で募金活動を始めたところ、たまたま通りかかったロータリアンが声をかけてくださったそうです。その方のオフィスへ招かれて事情をお話したところ、その後テレビ局にお連れくださり、テレビに出演させてもらえることになりました。その結果、ホームレスの方を含めて多くの方が寄付をしてくださったそうです。

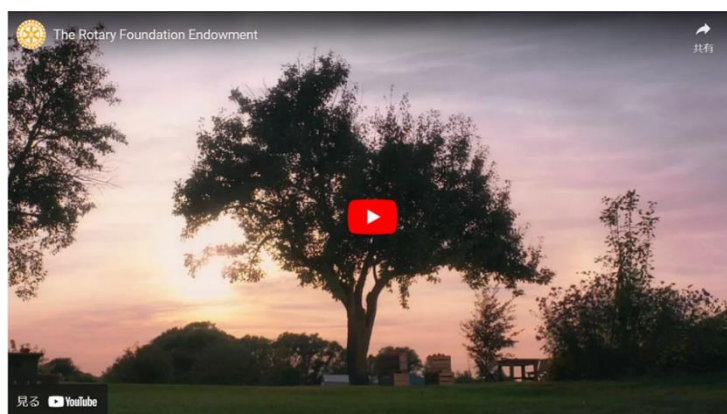
日本のために台湾の皆さんがそこまでしてくださったと知って、生徒たちともども、とても感激しました。その女性は何か恩返しができないかと考え、その後台湾の会社に就職したとのことでした。

なお、そのロータリークラブの皆さんは、震災以来毎年来日して、東北でボランティア活動をしてくださっています。

記事の続きは[こちら](#)

※このインタビューは国際ロータリー第 2590 地区により、地区大会記念誌用に行われたものです(ブログ記事用に編集されています)。第 2590 地区のご協力に心より感謝いたします。

[インターアクトクラブについて](#)
[ロータリーへのご遺贈について](#)
[ロータリーの恒久基金](#)



【記念寄付、追悼寄付(メモリアルコントリビューション)】

誕生日や結婚記念日などを記念して、あるいは、家族や友人の追悼として、気持ちを寄付という形にするのはいかがでしょうか。

記念寄付、追悼寄付(メモリアルコントリビューション)は、オンライン寄付の画面から寄付者ご本人様、または役職登録済みのクラブ会長、幹事、事務局の方などが、所属クラブまたはクラブ会員に代わってお手続きいただけます。ご希望に応じて、メッセージカードを送信・印刷することができます。

※銀行振込での記念寄付・追悼寄付は、各クラブからのご利用の状況を鑑み、2021-22年度をもちましてお取り扱いを終了させていただきます。

オンラインでの寄付はこちら <https://my.rotary.org/ja/donate>

《寄付者本人の手続き》

オンライン寄付の画面より、寄付分類を選んだあとに「記念寄付または追悼寄付をしたい」にチェックを付けます。チェックを付けると、「追悼寄付／敬意を表した寄付」の画面が表示されます。追悼寄付(メモリアルコントリビューション)の場合には、「追悼を表したご寄付」を選択します。

続いて、記念寄付や追悼寄付をしたことを、他の方へ知らせるメッセージカードを作成することができます(任意)。

メッセージカードでの通知方法

- Eメール:相手側へメッセージカードのリンク先が記載されたメールが送られます。
- 自分で印刷:ご自身で印刷して、郵送や直接お渡しいただけます。

《代理寄付》

オンライン寄付の画面より、寄付分類の選択、記念寄付または追悼寄付の選択、メッセージカードの作成まで進んだら、「これはクラブまたは会員からの寄付です。」にチェックを付け、「ご寄付」から「これはクラブまたは会員からの寄付」を選択することにより、代理寄付となります。

《留意点》

- クレジットカードでの決済となります。
- 税制上の優遇措置を受けるには、手続き画面の中で「国:日本」「通貨:円」となっていることをご確認ください。
- 寄付分類は問いません。寄付者のご希望に沿ってお選びください。
- 最後に「寄付内容を確認する」ボタンから内容を最終確認できます。ボタンをクリック後にページが白くなりますが、ページ上部にスクロールすると確認画面が表示されますので、内容の確認をお願いいたします。
- 寄付後すぐにロータリーインターナショナルから送られてくる「ロータリー:支払い受理の確認のお知らせ」というタイトルのメールを保存しておいてください(ご寄付の確認番号が含まれています)

「寄付・認証の手引き」をご活用ください

財団室へよくお寄せいただく質問に対する回答をまとめ、基本的な点をカバーしている手引きです。

ぜひ地区内クラブの皆様にご活用ください！

[寄付・認証の手引きはこちら](#)

補助金

【ローターアクトによる補助金参加の新たな機会】

ローターアクトは、長年にわたり、地元をはじめとする幅広い地域社会で有意義な奉仕を行ってきました。7月から、[ローターアクトクラブは、ロータリー財団の補助金を申請できるようになり](#)、さらに大きな影響を世界にもたらすことができるようになります。ローターアクトと補助金に関する[よくある質問](#)をダウンロードし、詳細をご覧ください。

【授与と受諾の条件 更新】

「授与と受諾の条件」が更新され、[地区補助金用](#)と[グローバル補助金用](#)のそれぞれ別個の資料となりました。これにより混乱を緩和し、各補助金に関する特定の情報を見つけることができるようになります。

【2022-23年度 地区の参加資格認定】

2022-23年度のための、地区の参加資格認定はお済みですか？地区がロータリー財団の補助金を申請するには、まず参加資格の認定を受ける必要があります。認定手続きは毎年行う必要があります。**6月30日までに、必ずお手続きをお願いいたします。**

参考：My ROTARY 「[参加資格の認定](#)」、財団室 NEWS2 月号 p.8

➤ 手続きが必要な方

現ガバナーノミニーと、2022-23 年度に新たに地区ロータリー財団委員長 (DRFC) になる方々です。(任期継続または再任のため 4 年目となる DRFC も必須です。DRFC2 年目、3 年目または 5 年目、6 年目の方は不要です)

➤ 手続き方法

[My ROTARY](#) の「補助金センター」からオンライン手続きです。

補助金センターを開いてから、画面右上「さらに表示」にカーソルを当てて、「地区の参加資格認定」からお進みください。



**必ず6月30日までに
お手続きをお願いいたします！**

【6月より大規模プログラム補助金が申請可能に】

2022-23年度大規模プログラム補助金の申請書が6月初旬に利用可能となり、申請を希望するクラブと地区は、8月1日までに、プロジェクトの期待される成果、パートナーシップ、目標をまとめたコンセプトノートを提出することとなります。大規模プログラム補助金は、すでに成功を取めたプロジェクトを拡大して実施するための資金を提供するものです。この補助金では毎年、ロータリー会員が経験豊かな協力団体と協力して実施する、成果が実証されている優れたプログラムに200万ドルが授与されます。

申請に関する詳細は[こちら](#)

2021-22年大規模プログラム補助金の受領者は、[ロータリー国際大会](#)にて発表されます。

【地区補助金 申請書】

2022-23 年度のガバナー、地区財団委員長 (DRFC)、地区補助金委員長は My ROTARY の「補助金センター」より、2022-23 年度地区補助金の申請書の作成・提出ができ、本年度の報告書を提出していなくても、申請書を提出することができます。

参照：「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.28～

<入力のヒント>

- **使用計画タブ：**活動を追加する際に、「簡単な説明」欄にはそのプロジェクトの内容と、地区補助金資金をどのような経費に使うか、簡単な説明をご入力ください。地区補助金資金を使わない経費項目については、申請書に入力しないようお願いいたします。
- **銀行情報タブ：**口座名は、カタカナまたはローマ字でご入力ください。また、「支店ID」欄には、銀行コードと支店番号(つづけて入力して7桁)をご入力ください。
- **補足文書タブ：**通帳の表紙と、表紙裏ページ(口座名が記載されているページ)を、「補足文書」タブにアップロードしてください。

【地区補助金 報告書】

地区補助金の報告書では各プロジェクトへの配分額(実際の使用額)を入力します。地区から各プロジェクトへ資金の配分が終わっていても、実施が完了していなくても報告書への入力・提出が可能なので、入力を進めておくことをおすすめします。参考：「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.32、財団室NEWS5月号 p.6

<報告書画面>

実際の使用
以下の各活動について、使用した金額を入力してください。資金を使用しなかった場合、空白にするか「0」と入力してください。

#	地区またはクラブ	活動またはプロジェクトの種類	活動の実施地	計画された使用額	実際の使用額
1		地域社会の発展 (ボラン...	Japan (日本)	930	
2		食糧/農業 (一般)	Japan (日本)	1,505	1505
3		地域社会の発展 (ボラン...	Japan (日本)	564	
4		教育 (一般)	Japan (日本)	1,806	

複数人同時には、報告書の入力できません。

複数人が同時に報告書を開いている場合、最初にかいた方のみ入力作業ができます。最初にかいた方が報告書画面を閉じるまで、他の方は入力できません。

ロータリー財団から地区へ、地区補助金が支払われた当時のRIレートにて、実際の使用額(円)をドル金額に計算して、ご入力ください。

途中まで入力して保存し、提出せずに一旦報告書画面を閉じることも可能です。

保存して閉じる 保存&提出 閉じる

画面を閉じる際には、「保存して閉じる」または「閉じる」から閉じてください。インターネットのウィンドウをそのまま閉じてしまうと、正常に閉じられない場合があります。

参考： [ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件](#) p.6

【グローバル補助金の報告】

報告書の提出期限は、支払から12か月以内または完了から2か月以内です。12か月でちょうど完了する場合などは、そこから報告書を作成すると期限が過ぎてしまいますので、早めに一度中間報告書をご提出ください。

奨学金の場合も、授業の開始ではなく支払日からの起算となります。出発前に経費を支払うために早めの申請、支払いを受けている方も多いため、留学期間が1年の場合は特に注意が必要です。

報告期限が学業の終了より前に来る場合も、奨学金を使い切っていれば早めに最終報告書を提出することができます。完了時まで支出の予定があり未使用の補助金(奨学金)があると予測される場合は、中間報告を学期の終わりなどに早めに一度提出するようにお願いします。

特に6月から8月頃に報告期限が来る奨学生が多いと思いますが、報告期限を過ぎてしまうと双方の提唱者の新たな申請を承認できません。受け入れクラブが、別の奨学生の受け入れ先として新たな補助金を申請中の場合、多大な迷惑をかけてしまうことになります。あと少しだからと放置することのないようにお願いいたします。



【グローバル補助金を受領する銀行口座の提出】

銀行口座情報が受理されるまで、補助金の申請書は承認されません。

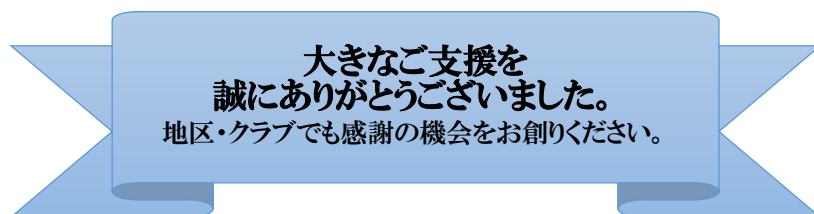
グローバル補助金の提唱者は、補助金申請書を提出する際に銀行口座情報を提供する必要があります(以前は補助金の承認後でした)。

- 実施国側か援助国側のどちらか一方の代表連絡担当者のみが入力できます。提出済みの申請書を開くと、銀行口座のタブが右側の下に追加されています。
- 口座情報を正確にローマ字にてご入力ください。
- 銀行コードと支店番号は、合わせて7桁を入力します。

The screenshot shows a web application interface for 'Global Grant Application'. The top navigation bar includes 'District Number', 'District Status: 地区の認定済み', and 'RESOURCES'. The main content area is titled 'グローバル補助金の申請' and contains several input fields. A sidebar on the right lists 'GRANT INFORMATION' with fields for 'GRANT NUMBER', 'GRANT STATUS', and 'LAST ACTIVITY'. At the bottom of the sidebar, the 'Bank Information' tab is highlighted with a red box, and a red arrow points to it from the right.

- 日本の口座の場合は、振り込みの際にフリガナが必要となります。口座情報入力画面下部の「銀行口座への入金を示す銀行明細書をアップロード」の部分に、通帳の口座名とフリガナが記載されているページのアップロードをお願いいたします。(拠出金を直接口座に入金した場合は、入金を示すページもお願いします)
- 口座と口座名について：他の資金が混ざらない補助金専用口座をご利用ください。クラブが提唱するプロジェクトの補助金は、クラブが管理する銀行口座に支払われる必要があります。口座名義には、補助金を受領する提唱クラブ名を含めます。地区が提唱するプロジェクトの補助金は、地区が管理する銀行口座に支払われる必要があります。口座名義には、補助金を受領する提唱地区番号を含めるようにします。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2022年4月26日～5月16日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2550	足利東	中谷 研一	2650	京都	立木 貞昭
2500	富良野	松田 英郎	2670	高松北	渡辺 光夫
計 4 名					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

【寄付記録、認証品について】

世界的な財務管理システムの移行にあたり、7月以降にいただいたご寄付について、各種レポートへの反映に不具合が生じております。ご不便ご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。ご不明な点等ございましたらお知らせください。また、新型コロナウイルスの感染拡大と業務への影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送に遅れが生じております。(順次お届けしております。)

皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございません。ご理解を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- My ROTARY から閲覧できるレポート「ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート」にて地区内・クラブ内の認証者をご確認いただけます。レポート画面の左上に表示されている「Rotary Year(すべての値)」から、年度をお選びいただけます。
(参考「[寄付・認証の手引き](#)」 p.37～)
- 環境面への配慮から、ポール・ハリス・フェローの認証状に使用していたクリアフィルムを廃止することとなりました。ご理解のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)
[My ROTARY 写真&動画](#)
[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

6月4～8日	ロータリー国際大会 (ヒューストン)
6月30日	グローバル補助金-奨学生申請書提出期限(10月までに留学を開始する場合)
7月1日	ロータリー平和フェローの地区の推薦書提出期限
7月1日 ～9月15日	ロータリー最優秀学友会賞、ロータリー学友世界奉仕賞
7月 ～10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞
11月 19日 20日 21～22日	第51回ロータリー研究会 財団地域セミナー メジャードナー午餐会 GETS・GNTS 他 ロータリー研究会

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RIJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

ロータリー財団 2021-22年度 4月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,144	122.61	262,883.92	30,906.36	122,000.00		415,790.28	126%
2510	2,404	149.48	359,345.86	23,428.81	37,090.99		419,865.66	111%
2520	2,132	83.44	177,904.68	14,457.61	28,046.88	7,350.00	227,759.17	121%
2530	2,216	112.63	249,589.22	29,435.03	26,003.62	5,355.00	310,382.87	103%
2540	1,113	74.86	83,316.64	1,198.24	877.19		85,392.07	97%
2550	1,665	158.49	263,887.69	36,023.34	32,819.67	20,515.79	353,246.49	113%
2560	1,999	130.12	260,103.33	43,406.57	1,400.76	7,350.00	312,260.66	112%
2570	1,562	140.56	219,560.27	62,614.77	44,705.81	2,100.00	328,980.85	106%
2580	2,837	225.76	640,469.47	160,217.35	134,164.29	2,100.00	936,951.11	111%
2590	1,884	207.33	390,614.57	52,982.19	37,245.90	8,250.00	489,092.66	116%
2600	1,871	181.80	340,150.42	58,256.93	14,973.71		413,381.06	114%
2610	2,497	108.65	271,287.92	19,217.62	3,617.86		294,123.40	106%
2620	2,818	142.42	401,346.37	53,402.96	94,112.52	2,250.00	551,111.85	123%
2630	3,030	162.14	491,274.87	35,581.54	67,550.94	7,699.65	602,107.00	123%
2640	1,638	112.91	184,938.86	18,603.93	23,588.45	3,150.00	230,281.24	94%
2650	4,292	185.19	794,814.17	101,088.43	46,903.42	3,990.00	946,796.02	104%
2660	3,455	210.51	727,303.20	187,385.20	73,309.09	26,564.84	1,014,562.33	123%
2670	2,890	116.96	338,014.66	50,334.04	31,136.36		419,485.06	140%
2680	2,585	150.58	389,241.99	44,480.27	67,065.51	5,419.05	506,206.82	117%
2690	2,897	152.36	441,395.73	75,496.09	40,090.91	4,095.00	561,077.73	93%
2700	3,038	185.87	564,682.19	22,455.55	86.84	1,050.00	588,274.58	192%
2710	3,089	138.39	427,494.39	82,662.21	77,290.69		587,447.29	111%
2720	2,316	113.04	261,795.31	22,056.36	14,914.09		298,765.76	124%
2730	2,311	70.93	163,913.08	23,625.64	7,450.00	1,050.00	196,038.72	105%
2740	2,073	81.19	168,296.76	18,691.40	108,150.00		295,138.16	156%
2750	4,493	195.47	878,239.43	158,570.38	280,722.58	5,355.00	1,322,887.39	103%
2760	4,624	170.46	788,200.48	146,547.27	113,999.02	1,050.00	1,049,796.77	115%
2770	2,327	209.05	486,459.64	91,720.19	53,199.00		631,378.83	98%
2780	2,248	151.52	340,618.33	66,416.83	48,787.14		455,822.30	97%
2790	2,650	175.34	464,660.25	70,204.20	43,540.92	2,100.00	580,505.37	118%
2800	1,507	140.45	211,654.74	46,273.41	31,917.11		289,845.26	169%
2820	1,837	150.80	277,013.06	44,864.37	44,299.57	1,050.00	367,227.00	99%
2830	1,099	140.50	154,412.82	19,205.93	4,070.00		177,688.75	115%
2840	2,059	129.47	266,570.45	52,317.60	25,526.61		344,414.66	103%
日本	83,600	152.41	12,741,454.77	1,964,128.62	1,780,657.45	117,844.33	16,604,085.17	113%
世界	1,162,763	97.28	113,115,971.51	23,562,298.81	35,748,330.08	21,078,435.78	193,505,036.18	
日本の割合	7.19%	-	11.26%	8.34%	4.98%	0.56%	8.58%	

※2022年5月23日現在(訂正等により数字が更新される場合があります)

※ロータリー災害救援基金へのご寄付は、年次基金が対象となる各種認証や寄付データに算入されます。(ウクライナ支援のための寄付含む)

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。